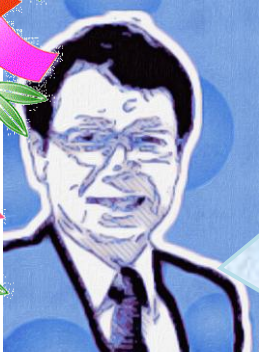


# きいちレポート 11



## ごあいさつ

みなさんこんにちは。6月の議会レポートをお届けします。  
本議会では、学校給食センターのPFI事業委託企業グループの決定や、地域密着型介護老人福祉施設の整備などの補正予算が審議されました。  
一般質問は、次期高齢者福祉計画策定について、**こびっと**聞いてます！

ご意見はブログ <http://pokonin555.asablo.jp/blog/> にお寄せ下さい！

## 次期の高齢者福祉計画策定を！

団塊の世代が高齢期を迎え、一昔前の高齢者と違って元気で活力もあります。これからの高齢者福祉は、これらの世代を念頭に置いた計画作りが必要という問題意識です！

**問** 第6期高齢者福祉計画で、重視する観点はなにか。

**答** 第5期で掲げた「健康づくりと介護予防」「生きがい活動・社会参加の促進」に加え、「地域包括ケアシステムの構築」や「介護予防の推進」を重視する。

**問** 団塊の世代が高齢者の中心世代となるが福祉施策の考えは。

**答** 元気高齢者の活躍の場作りや、要支援者への生活支援を拡大していく。高齢者自身が生活支援サービスに関わるシステムも検討していく。

**問** 三輪野江、旭などの過疎地域では、今後高齢者への移動支援が必要になるのでは。

**答** 現在、要介護者を対象に、病院、公共施設などへのタクシー利用の外出支援を実施している。今後、第6期計画のニーズ調査を踏まえ地域福祉、公共交通対策の視点から研究していく。

**問** 高齢者世代の能力活用を行う施策について。

**答** 現在、「シルバー人材センター」「生涯学習人材バンク」「地域寺子屋事業」などで活躍している。今後、潜在する人材の発掘や、

高齢者紹介の環境づくりを検討する。



きいちレポート！！

検索



## PFI事業とは何か??

吉川市は、学校給食センターの老朽化が激しいため、新しい給食センターを建設する事に決めましたが、この事業を民間の会社に委託することにしました。

PFIとは、民間資金主導というような意味ですが、委託の方法のことで、給食センターの建物の建設から施設の管理・運営まで一括して民間の会社に請け負わせてしまう方式のことで、資金の調達を民間に任せると、市は多額の費用を一度に支払うことがありません。費用は、後年度に分割して支払うやり方なので、事業を早期に実現できます。また委託先は、給食サービスを専門とする事業者を選んで行うので、施設建設のスタートから事業者のノウハウを活用でき、サービスの質の向上も図れるという方法です。

## 教育環境についてどう考えるのか！

**問** 教育環境の整備について。

**答** 暑さ対策のための環境整備はエアコン設置を考えるべきだが、老朽化した校舎の改修工事などの優先度を考慮しながら、教室へのエアコンの導入についても前向きに検討する。

**問** PFIによる給食事業委託の考え方について。

**答** PFIによる学校給食センター整備にかかる事業者の選定は、総合評価一般競争入札方式により決定した。これは性能評価を加点方式で行うもので、ライフサイクルコストを考えた、バリューフォーマネーの評価は、最も高い事業者として選定された。



**6月議会の感想**：教育委員会が決定した学校給食センターのPFI事業委託契約は、かなり解りにくいものでした。3つの企業グループから入札があったのですが、落札者の契約金額は**最も高い価格**を付けた企業グループに決定したのです。15年間という長い契約期間なので、優れた事業提案を加点方式で総合評価した結果、現在価値に算定した評価点（VFM：バリューフォーマネーという）が最も高かった業者を選んだというのです。確かにVFM価値が高い事業者だったのか、教育委員会は事業期間を通して**説明責任**があります。